

1 事業情報

上下水道事業評価(令和2年度)

担当課

上水道建設課

目指すべき方向性	強靱	基本政策	3 災害対策の推進	施策	3-1 震災対策の強化	事業	3-1-1 水道施設の耐震化
----------	----	------	-----------	----	-------------	----	----------------

2 事業評価の概要

項目	内容						
基本政策	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。						
事業目的	地震等の災害発生時においても市民の救護活動等に支障をきたすことのないよう、浄配水場から重要給水施設(災害拠点病院および救急告示医療機関)への配水ルートを優先的に耐震化します。						
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・災害発生時においても市民の救護等に支障とならないよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管により0.34km更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。						
期間	令和2年4月 ～ 令和3年3月						
予算額 決算額	予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出
	事業費計	96,359	4,100	92,259	96,098	3,839	92,259
	工事費	92,259		92,259	92,259		92,259
	原材料費	0			0		
	委託料	4,100	4,100		3,839	3,839	
	賃借料	0			0		
	その他	0			0		
	人件費	9,875	0	9,875	9,875		9,875
							100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	61,575	事業進捗度	A 予定以上の進捗
	上半期執行率	64%		
進捗状況	災害発生時においても市民の救護等に支障とならないよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管により 0.39km更新しています。			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	災害発生時においても市民の救護等に支障とならないよう、救急告示医療機関への配水ルートを予定路線0.34kmに対し、約0.40kmを耐震管により整備しました。執行率は延長ベースで約118%です。			
事業達成度	A 予定以上の成果を上げた			
事業達成度 C～Eの理由				

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	R4
指標名	【PI B607】重要給水施設配水管路の耐震管率	単位	%	目標値	65.2	66.0	69.3	
算出式・根拠	(重要給水施設配水管路のうち耐震管延長/重要給水施設配水管路延長)×100				実績値	64.6	65.5	
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおりできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおりできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
A 予定以上の成果を上げた	今後、耐震化を進めていく救急告示医療機関12病院への配水ルートを選定したが、選定配水ルートが最も効果的かつ効率的な配水ルートか検証・解析を行います。	現状維持で継続